

山田高校陸上部（女子）

昨年12月20日、県内の陸上関係者やファンを沸かせた第27回全国高校駅伝での山田高校陸上部女子の力走。最高の舞台・都大路で、5人それぞれが素晴らしい走りを見せ、一本のタスキをゴールまでつなぎました。



(後列左から) 寺尾選手・片岡選手・森本選手・西松選手
(前列左から) 野村選手・西川選手・田中選手・中里選手

歴代最高7位のゴールアンカーの寺尾選手がゴールの西京極陸上競技場に入ってきたとき、高知で応援していた関係者らは、大きな驚きと共に歓喜に沸いたといえます。入賞ラインギリギリの8位でタスキを受け取った寺尾選手は、まだ経験の浅い1年生。厳しい戦いになるといふ見方が大半だったからです。しかし結果は、順位を1つ上げる堂々とした走り。ゴール後も表情を変えなかった寺尾選手ですが、出迎える先輩たちの笑顔を見た途端、抑えていた感情が溢れ出るかのように、歓喜の涙がこぼれ落ちました。

全員でつないだタスキ
流れを作ったのは1区森本選手（3年）の強気の走り。先頭集団に食らいつき、8位でタスキを渡しました。森本選手は卒業後、実業団のヤマダ電機に入部予定。永田監督によると「五輪も狙える」という評価で、今後の活躍が楽しみです。
2区西松選手は、6月に行われた四国高校選手権の3000円で、2年生ながらエースの森本選手を破って四国ナンバー1になった逸材。前と2秒差の11位と、粘りの走りを見せました。
3区片岡選手（2年）は区間5位という会心の走り。1年生の夏に日高村にある実家が豪雨に見舞われ、家の復旧の手伝いに帰ったことがあるそうです。そこでどんなやり取りがあったのか分かりませんが、この出来事を境に意識が変わり、大きく力を伸ばしました。
4区中里選手（3年）は故障続きで、当初はメンバー入りが難しいという状態でした。しかし諦めず練習に取り組み、粘りの走りで7位入賞に貢献しました。

思いをつないで
山田高校の女子陸上部といえば、高知県では常勝、四国でも名の知れた存在ですが、その歴史は山あり谷あり。部員は現在14人ですが、大会出場に必要な定員ギリギリの5人しかいない時期もありました。全国では、前回大会が29位、前回大会が47位と、大きな壁にはね返され、「くやしきとも」に、支えてくれていた人たちに申し訳ないという思いだった」と永田監督は言います。
これまでの努力を褒め、新しい扉を開いた歓喜のゴール。主将の田中選手は、「自分たちの力を信じ、入賞を目標にやってきた。これからは目標とされる存在として常に上位で戦えるように、山田高校陸上部の歴史をつないでいってほしい」と、後輩たちにエールを送っていました。



山田高校陸上部（女子）

昨年12月20日に京都市で開催された全国高校駅伝に27年連続で出場し、歴代最高の7位入賞を果たした。山田高校の入賞は第19回大会の8位以来となる8年ぶり2回目。県勢の入賞は、昭和45年の高知農業高校（男子）4位を含めても3回目の快挙となった。また、1月17日に行われた全国女子駅伝にもメンバー入りし、高知県代表として全力の走りを見せた。

図書館だより

市立図書館



◆平成27年度取り組み報告

乳幼児から大人の方まで、来館される皆さんが図書館に親しみ、暮らしの中に生かせるようさまざまな事業を開催してきました。

3館合同図書館まつりでは、『パンやさんのおはなし』や『図書館ウルトラクイズ』で図書館博士に挑戦しました。

秋の文化展に合わせて図書館が地域の催しに参加し、利用推進やPRを行う出前ミニ図書館&おはなし会スタンプラリーは、多くの親子連れらでにぎわいました。外国人講師を招いて行う冬のイベント・英語で楽しむ会は、80人以上の参加者で幅広い年代に好評でした。今年度初めて実施したイベントとして、高知工科大学吹奏楽部&おはなしコンサート（ライブラリーコンサート）がありました。楽器に触れたり、妖怪体操第一やアンパンマンマーチなどを歌ったりしながら、音楽と

読書と一緒に楽しみました。年末には、講師を招いてお正月リース作りを楽しみました。

これからもいろいろなイベントを企画していきたいと考えています。ご意見ご希望をお寄せください。

【連絡先】
本館 ☎53・0301

◆図書館クイズ
3館では、週別（本館）・月別（香北・物部）に、図書館クイズを実施しています。賞品あります！

◆臨時休館のお知らせ
3月14日（月）香北分館
3月15日（火）物部分館
3月16日（水）〜18日（金）本館

◆物部分館からお知らせ
物部支所新築移転準備中は、次の場所で開館します。

【期間】5月〜9月
【場所】奥物部ふれあいプラザ 1階リハビリ室
【開館日】火曜〜金曜
※祝日は休館
【開館時間】9時〜17時

Pick Up

死んでいない者

滝口悠生 著
老人の通夜に集まった家族や親類たち。その死に思いをはせ、絆が紡ぐ思い出や優しい時間を共有する中で、生きる意味を確認する。芥川賞受賞作。



ブラック・ヴィーナス

城山真一 著
株取引の天才・二礼茜は、大金と引き換えに依頼人の大切なものを要求する。さまざまな人間模様の中繰り広げられる株の闘いは、ラストまで一気読み。



ズッコケ熟年三人組

那須正幹 著
稲穂県ミドリ市を豪雨が襲い、ハチベエ、ハカセ、モーちゃんは被災地へ。40歳からの中年シリーズも50歳で完結。小学生版を読んだ人必読の本。



香美市民憲章 -平成24年4月1日制定-

前文 私たちの香美市は、美しく、豊かな自然に育まれています。先人が築き上げた尊い文化や伝統を受け継ぎ、人々が愛と勇気を心に持ち、誰もが幸せを感じられるまちを目指し、ここに市民憲章を定めます。

- 本文**
- 1、豊かな自然を守り、美しいふるさとを未来に届けましょう。
 - 1、互いに思いやり、ささえあう、心安らぐまちにしましょう。
 - 1、歴史に学び、伝統を守り、高め、文化の香りあふれるまちにしましょう。
 - 1、子どもたちの笑い声は宝物、みんなで見守り育てましょう。
 - 1、感謝の気持ちを大切に、元気で働き、仲よく住みよいまちにしましょう。

